

日本周産期・新生児医学会 第37回周産期学 シンポジウム

日程：2月8日(金)～9日(土)

会場：大阪国際会議場(大阪市北区)

テーマ：胎児診断から始める治療戦略

プログラム：

【2月8日(金)】プレコンgress
教育講演／委員会報告／招待講演／懇親会

【2月9日(土)】周産期学シンポジウム：胎児診断から始める治療戦略

[午前の部]「診断—予後予測からトリアージへ」①「先天性消化管閉鎖症における出生前診断の意義の検討」田中亮(名古屋大学医学部附属病院周産母子センター新生児部門)／②「胎児超音波検査による先天性横隔膜ヘルニアの包括的リスク評価」照井慶太(千葉大学医学部附属病院小児外科)／③「胎児診断からみた嚢胞性肺疾患の治療と周産期予後」杉林里佳(国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター胎児診療科)／④「胎児診断に基づいた先天性心疾患胎児の分娩施設の選択」漢伸彦(福岡市立こども病院周産期センター新生児科)／⑤「左心低形成症候群の予後からみた胎児期からの治療戦略」北代祐三(福岡市立こども病院産科)／ディスカッション

[午後の部]「治療—難治性疾患へのアプローチ」①「ヒト羊水幹細胞を用いた周産期神経疾患の新規治療戦略／脊髄膜瘤モデルによる検討」落合大吾(慶應義塾大学医学部産婦人科)／②「iPS細胞由来

培養皮膚を用いた脊髄膜瘤の新規治療戦略」梶原一紘(東京慈恵会医科大学産婦人科)／③「症候性先天性サイトメガロウイルス感染症に対する胎児治療と新生児治療」谷村憲司(神戸大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター産科部門)／④「低ホスファターゼ症周産期型における周産期管理と治療への道筋」永岡晋一(宮城県立こども病院産科)／⑤「胎児診断に基づいてEXITを施行した9例の適応と治療成績、長期予後に関する検討」正畠和典(大阪母子医療センター小児外科)／ディスカッション

参加費：会員および医療従事者：1万2000円(ただし2月9日のみ参加の場合1万円)、大学院生・看護師・保健師・助産師：5000円、学生・初期研修医：無料
※事前登録なし。当日、会場での参加受付(現金での集金)のみ。
懇親会参加費：無料

問い合わせ先：運営事務局(日本旅行西日本 MICE 営業部)
☎ 06-6342-0212
FAX 06-6342-0214
✉ sympo37@nta.co.jp

国際母子ケア協会認定 アロマケアスペシャリスト コースセミナー 集中コース

日程：2月12日(火)～13日(水)

会場：アクエリエル京都(京都市北区)

対象：助産師、看護師

内容：実証に支えられたケモタイプ精油を使用し、代表的な48種類を含む60種類の精油について学習します。これらの精油を正しく理解し臨床ケアに代替療法の一環と

してアロマセラピーを取り入れられるよう、また日常生活に適切に使用できるよう指導します。

定員：6名

参加費：9万円

申込方法：メールにて件名を「アロマケアスペシャリスト受講希望」とし、本文に①氏名、②住所、③電話番号を記入の上、下記アドレスに送信。

✉ info@iamb.jp

問い合わせ先：国際母子ケア協会

☎ 075-468-7082

HP www.iamb.jp

第33回日本助産学会 学術集会

日程：3月2日(土)～3日(日)

会場：福岡国際会議場(福岡市博多区)

テーマ：世界に躍進する日本の助産—いのちの担い手、愛と知と技

プログラム：

【3月1日(金)】

プレコンgress

【3月2日(土)】

会長講演「世界に躍進する日本の助産—いのちの担い手、愛と知と技」谷口初美(九州大学大学院医学研究院保健部門)／特別講演：Frances Day-Stirk(前 ICM 会長)／教育講演1「日本の助産師モデル」山本詩子(日本助産師会会長)／市民公開講座1「スマホに子守りをさせないで！—赤ちゃんが健やかに育つために」佐藤和夫(国立病院機構九州医療センター小児科)／市民公開講座2「子どものこころの発達：児童虐待と傷ついていく脳」友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門)

【3月3日(日)】

教育講演2「助産学の新たな風と精神保健への役割」吉田敬子(医療法人風のすずらん会メンタルクリニックあいりす)／教育講演3「産科診療における超音波の役割」吉里俊幸(久留米大学医学部産婦人科学講座)／教育講演4「助産師教育におけるシミュレーション教育の可能性」阿部幸恵(東京医科大学医学部看護学科)／シンポジウム1「周産期メンタルヘルスの取り組み」／シンポジウム2「世界へ発信する日本の助産—アジアからアフリカ地域に向けて」／シンポジウム3「自律した助産師の育成」／ワークショップ「ガイドラインをどう実践に活かしていくか—実装研究(Implementation research)の活用」／交流集会1「日本だけじゃない!世界が注目 東洋医学!—鍼灸師が伝えたいツボの基礎」／交流集会2「院内助産・助産師外来の推進とアドバンス助産師の活動」／交流集会3「助産政策委員会の活動と2020年診療報酬改定に向けた要望の検討」／交流集会4「乳腺炎重症化予防—乳房ケアの技を身につけるためのヒントを探る“乳房模型を持参して、痛くない乳房ケアを学ぼう!”」／交流集会5「明日から使える!冷え症ケアの『技』」(プログラムは変更追加の可能性あり)

参加費: 会員 1万3000円, 非会員 1万5000円, 学生 5000円(学生証コピーを提出), 懇親会費用 8000円

申込方法: 当日, 受付にて。

問い合わせ先: 運営事務局(株式会社コングレ九州支社)

☎ 092-716-7116

FAX 092-716-7143

✉ jam33@congre.co.jp

わらべうた胎教 マッサージ体験セミナー

日時:【東京会場】3月11日(月) 13:30~15:30, 【大阪会場】3月23日(土) 13:30~15:30

会場:【東京会場】新宿文化センター(東京都新宿区), 【大阪会場】京橋あかね助産院(大阪市城東区)

内容: わらべうたの音楽を使った新しい胎教です。胎教を行うことで赤ちゃんとの絆を深めて産後うつや、虐待が予防できるのではとの思いです。また主体的にお産に臨んでほしいとの思いから、自己マッサージを取り入れて妊娠中に起こりやすいマイナートラブルを予防します。マタニティクラスにお悩みの方、実践型のマタニティクラスの運営にお勧めです。

参加費: 3000円

申込方法: FAX, メール, ホームページから。

FAX 011-351-1630

✉ akane8@jyosansi.com

HP <https://www.jyosansi.com/akane/taikyo/taiken/>

問い合わせ先: あかね助産院 大阪市城東区鴨野西 1-3-30

☎ 080-5711-3811

国際母子ケア協会認定 ベビーマッサージ インストラクター コースセミナー

日程: 3月13日(水)~14日(木)

会場: アクエリエル京都(京都市北区)

対象: 助産師, 看護師

内容: ベビーマッサージだけでなく、

生後すぐから取り入れられるベビーのハンドリングテクニックなども併せて指導します。赤ちゃんの姿勢・運動・発達を援助でき、専門家としての知識と技術、指導ができるよう教示します。

定員: 6名

参加費: 9万円

申込方法: 件名を「ベビーマッサージ受講希望」とし、本文に①氏名, ②住所, ③電話番号をご記入のうえ, 下記アドレスに送信。

✉ info@iamb.jp

問い合わせ先: 国際母子ケア協会

☎ 075-468-7082

HP www.iamb.jp

公益信託山路ふみ子 専門看護教育研究助成基金 第29回(2019年度) 研究助成候補者募集

申請締切日: 3月22日(金)

研究助成の主旨: 看護学の諸分野の研究に対する助成を行い、もって看護の質的向上を通じ、人々の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。特に看護実践の科学的根拠の確立、看護方法論の開発と評価及び看護学の基盤となる研究を助成する。2019年度は、先端科学技術や周辺科学の知と看護学諸分野とを繋ぎ社会に発信できる創造的研究を期待している。なお、軍事に資する研究については助成しない。

助成金交付予定額および助成金使用期限:

●1件 150万円以内で、約20人に交付する予定。助成金使用期限は、大学院博士後期課程、または5年一貫博士課程の修了予定日まで。博士課程修了後の

研究生の場合は研究終了時までとする(但し、最長3年)。

- 助成金の使用内訳に際しては、以下の制限あり。

ア. パソコン等のハード購入費は20万円以内とすること。

イ. 下記の費用は助成対象としない。

授業料、学会参加費、論文作成費(英訳を含む)、データ入力およびテープ起こし等に対する謝金。

応募資格: 次の全ての条件を満たす者とする。

- 日本国籍を有し、厚生労働大臣の免許を受けている看護師
- 国内または国外の大学院博士後期課程または5年一貫博士課程の正規生、もしくは博士課程修了後の研究生(いわゆるポスドク)として在学中で、看護学の諸分野を研究中的者
- 看護学の探求に熱意を持ち、将来看護学の教育、実践または研究に携わる意志を持つ者
- これまで当研究助成基金から助成を受けたことのない者

なお、給与収入(フルタイム)がある者、2019年4月時点で大学院博士後期課程1年生、5年一貫博士課程1、2年生は、原則として応募資格を有さない。

応募方法: 所定の申請書(1通)を当公益信託の受託者(下記)に提出すること(志望者が、受託者宛に直接郵送すること)。

- 各用紙への記入はPC等活字入力によるものとする(手書禁止)。
- 所定の申請書以外に書かれたものは、審査対象としない。様式を変更したり、複数ページに記入した場合、応募は無効とする。

また印刷はA4用紙4枚・片面印刷とすること(両面印刷不可)。

- 書類は返却しない。
- 申請書は、以下のホームページの公益信託の募集案内一覧のページからダウンロードすること。
<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

助成金受給者の義務:

- 研究成果の報告書(会計報告書を含む)を助成金使用期限までに当公益信託の受託者(下記)に提出すること。
- 学位論文完成時(研究生は研究終了時)に、論文要旨の写しを当公益信託の受託者に提出すること。
- 学位論文およびその他研究論文を公表する場合には、「この研究は、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金より助成を受けた」旨を記載のこと。
- 当公益信託の事業において、研究成果の報告を依頼する可能性が有る。

受託者: 三井住友信託銀行個人資産受託業務部公益信託グループ公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金申請口

☎ 03-5232-8910 (受付: 平日9時~17時)

FAX 03-5232-8919

審査方法ならびに通知: 当公益信託の運営委員会で、書類による審査のうえ採否を決定し、結果は5月上旬頃までに志望者に通知する[5月24日(金)17時から贈呈式を予定]。

助成金交付期日: 採択決定後、受給者の書類が整い次第、すみやかに交付。

に交付。

埼玉県立大学研究開発センター研究推進セミナー

日時: 3月23日(土)

13:00~16:00(受付12:30~)

会場: 埼玉県立大学 北棟343(埼玉県越谷市)

テーマ: 臨床実践をより良くする研究の発展に向けて—実践と研究のコラボレーション

プログラム: 「臨床現場における実践者および研究者としての研究の実際」松原康美(北里大学看護学部准教授、北里大学病院がん看護専門看護師)／「臨床における研究活動の実際—がん専門病院の実例を通して」市川智里(国立がん研究センター東病院看護部看護師長、がん看護専門看護師)／「臨床現場で看護研究を推進するための取り組み—看護学部と看護部の協働を模索する」山内典子(東京女子医科大学八千代医療センター精神看護専門看護師)／「オレムセルフケア理論を臨床で活用するための大学との協働—臨床に根付かせるための研究としての取り組み」近藤美和子(埼玉県立小児医療センター看護部小児看護専門看護師)

定員: 80名(先着順)

参加費: 無料

申込方法: 以下のフォームより。

HP <https://goo.gl/forms/q08Qbi6SViTuKbzx1>

問い合わせ先: 埼玉県立大学研究開発センター

☎ FAX: 048-973-4383

✉ Research_c@spu.au.jp